

檜 細
工 師

三浦宏作品展

小さく拵えた江戸の町並み



三浦宏と作品群
※一部作品は本展に含まれません

撮影：石崎幸治

■ 期 間 令和7年 11 月 13 日(木)～令和8年 1 月 12 日(月・祝)
※12月8日(月)、21日(日)、29日(月)～1月3日(土)は除く

■ 時 間 9時～17時

■ 会 場 台東区民会館9階ロビー(台東区花川戸2-6-5)

■ 主 催 台東区文化振興課

無 料



浅草出身の檜細工師・三浦宏(1926-2019)は、家業の檜風呂製作のかたわら、職人としての経験と時代考証にもとづき江戸期の家屋の縮尺1/10模型を作り始めました。
本作品展では、湯屋・呉服屋などの代表的な作品を展示します。
3メートル四方の展示台に再現された江戸の町並みから、当時の人々の暮らしや息づかいをぜひ感じ取ってください。

三浦宏は、大正15年(1926)浅草の風呂桶職人の家に生まれ、父と船大工であった祖父の技術を受け継ぎ、「三浦風呂製作所」として檜風呂や手桶などを製作していました。
時代の流れとともに木製風呂桶の需要が減り、風呂桶以外の製品作りを試行錯誤する中、手の空いた時間に子どもの頃から親しんだ和船の模型を作り始めました。

昭和50年代半ば、辻村寿三郎氏が花魁人形を手がける企画展「吉原」の開催にあたり、舞台となる妓楼の制作を依頼されます。昭和56年(1981)に完成した総檜造りの約3メートル四方もある建物は、辻村氏の人形や服部一郎氏の小道具とともに大きな話題となりました。(写真右上)

以降、江戸時代の家屋や船を復元し、亡くなるまでの38年間に100点以上のミニチュア作品を制作しました。
令和元年(2019)6月永眠。享年92歳。



江戸風俗人形 人形23体 建物間口268×奥行235.5×高さ81.5cm(作品縮尺13/100)
昭和63年(1988)より、一式(人形・小道具・建物)を台東区立したまちミュージアムが所蔵。
※本展に江戸風俗人形は含まれません



湯屋二階



間口79×奥行154×高さ74cm
(作品縮尺1/10)

江戸時代は、風呂・浴室は大名や旗本、裕福な町人の屋敷ぐらいにしかなく、庶民は銭湯と言われる「湯屋」に通っていた。湯屋内の湯船前面は石榴口(ざくろぐち)という板戸で約半分覆われ、客はその下をくぐって湯船に入った。石榴口の内側は湯気が充満したのでサウナのようにになっていた。二階では湯上りに休息や雑談をしたり、碁や将棋も楽しめたりする場所となっていた。

同じフロアで
開館中!

べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館

大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の主人公・蔦屋重三郎ゆかりの地である台東区に大河ドラマ館がオープン。
登場人物の衣装や小道具の展示等、見どころが満載です。

- 開設場所 台東区民会館9階(台東区花川戸2-6-5)
- 開館期間 2025年2月1日(土)～2026年1月12日(月・祝)
- 開館時間 9時～17時(最終入館16時30分)
- 休館日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始等
- 入館料 大人800円、小人400円ほか
- アクセス 各線浅草駅 徒歩5～9分
- 主催 台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会



■問合せ先 べらぼう 江戸たいとう 大河ドラマ館運営事務局 TEL.03-4330-1409

「蔦重ゆかりの地」キャラクター
つたいやん



「蔦重ゆかりの地 台東区」についての
その他の情報はこちらをチェック!

<https://taito-tsutaju.jp>

蔦重ゆかりの地 台東区



蔦重ゆかりの地

■問合せ先 台東区文化振興課 TEL.03-5246-1118